

北東アジア動向分析

中国

1 - 9月期の経済成長率は8.5%～鉱工業生産の拡大・消費の回復・投資の増加～

SARSの影響を受け、4-6月期に落ち込んだ中国のGDP伸び率も、7-9月期にはここ数年の最高記録となる9.1%にまで回復し、1-9月期のGDP成長率は8.5%に達した。1-9月期の中国経済は、鉱工業生産、固定資産投資、貿易、対内直接投資の各項目で好調であった。

鉱工業生産は、前年同期比16.5%の伸びで、1995年以来の最高値を記録した。特に好調であったのが重工業（前年同期比18.4%増）である。主要工業産品の中で大きく伸びたのは、半導体・集積回路（同36.4%増）、自動車（同16.8%増）であった。

固定資産投資は今年に入ってから30%を超える伸びを維持している。これを牽引しているのは不動産開発投資で、都市部の住宅制度改革を背景に、3年間連続して20%以上の伸びを保っている。2003年1-9月期も32.8%と高い伸びを記録した。また、鉱工業生産が急速に拡大する動きを受けて、鉱工業企業の更新改造投資も拡大しており、前年同期比49.3%増となっている。

これらに加えて、消費の急速な回復も注目される。SARSの影響を脱した6月以降、社会消費品小売額は継続的に上昇しており、1-9月期の伸び率は16.5%まで回復した。特に自動車および関連部品、装飾用建材・家具などの住宅関連品の売上げの伸びが顕著である。さらに、4-5月に大打撃を受けた外食産業もSARS発生以前の水準に回復し、前年同期比15%増といった堅実な伸びをみせた。

対外貿易では輸出が前年同期比32.3%増、輸入が同40.5%増と高成長を記録した。貿易収支は91億ドルに達している。主要貿易相手国の中で、輸出では対EU（前年同期比46.2%増）、対ロシア（57.8%増）が大きく伸び、輸入では対ASEAN（同54.5%増）、対韓国（52.8%増）が高い

伸び率を記した。中国の貿易相手国のトップは依然日本であり、その伸び率は輸出入の合計額で31.7%と高かった。このような対外貿易増加の一つの要因としては、WTOの基本原則に従って、市場開放、関税率の引下げ、貿易手続きの簡素化といった措置が採られたことが挙げられる。この勢いが維持できれば、今年の対外貿易は8,000億ドル（1-9月期は6,036億ドル）に達するものと見られ、世界貿易ランキング4位となる可能性も出てきている。

このように、今年の中国経済は前半にSARSといった問題が持ち上がったものの、その後の回復は早かったといえる。この結果、最終的には8%を超える高い成長率を記録するものと見られている。

有人宇宙飛行の成功

中国初の有人宇宙船神舟5号が10月15日に打ち上げられ、翌16日に無事帰還した。米国、ロシアに次いで、世界で3カ国目になる有人宇宙飛行を実現したことで、国全体が喜びにわき、誰もがテレビの報道にくぎ付けとなるなど、盛り上がりを見せている。この成功にさまざまなメディアで特集が組まれ、宇宙飛行ブームが巻き起こり、宇宙飛行士は人々の憧れの的となっている。

この成功により、中国は自国の科学技術の発展に自信を持つこととなった。こうした中で、この成功を特に誇らしく感じているのは東北地域の人々ではないだろうか。今回の宇宙への有人飛行プロジェクトの総指揮をとった人物も、ロケットの設計者も、ハルビン工業大学の出身である。また、ロケットの関連部品も同大学で開発されたものであった。さらに、中国初の宇宙飛行士となったのは遼寧省の出身者である。中国中央政府における今後の政策方針の中で、中国東北地域の復興が取り上げられる中、この有人宇宙飛行成功のニュースにより、さらに東北地域が注目されることとなった。（ERINA調査研究部研究員 川村和美）

		1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年		
							1-3月	1-6月	1-9月
GDP成長率	%	7.8	7.1	8.0	7.3	8.0	9.9	8.2	8.5
鉱工業生産伸び率	%	10.8	8.9	9.9	8.9	10.2	-17.2	-16.2	-16.5
固定資産投資伸び率	%	13.9	6.3	9.3	12.1	-16.1	-31.6	-32.8	-30.5
社会消費品小売総額伸び率	%	6.8	6.8	9.7	10.1	8.8	9.2	8.0	8.6
消費価格上昇率	%	0.8	1.4	0.4	0.7	0.8	0.5	0.6	0.7
輸出入収支	億ドル	436	291	241	226	304	-10	45	91
輸出伸び率	%	0.6	6.1	27.8	6.8	22.3	33.5	34.0	32.3
輸入伸び率	%	1.5	18.2	35.8	8.2	21.2	52.4	44.5	40.5
直接投資額伸び率（契約ベース）	%	30.4	18.9	50.8	10.4	19.6	59.6	40.3	36.0
直接投資額伸び率（実行ベース）	%	0.5	9.7	0.9	14.9	12.5	56.7	34.3	11.9
外貨準備高	億ドル	1,450	1,547	1,656	2,122	2,864	3,160	3,465	3,839

（注）前年同期比。（ ）内の鉱工業生産伸び率は国有企業及び年間販売収入500万元以上の非国有企業の合計のみ。（ ）内の固定資産投資伸び率は集団所有制企業・個人企業を含まない。（出所）中国国家统计局、海關統計、中国外匯管理局資料、各種新聞報道より作成